



平成 21 年 4 月 22 日

各 位

会 社 名 株式会社 阿 波 銀 行
代 表 者 取締役頭取 岡 田 好 史
(コード番号 8388 : 東証第一部、大証第一部)
問 合 せ 先 取締役総合企画部長 平 岡 悟
電 話 番 号 (088) 623-3131

平成 21 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 21 年 1 月 30 日に公表しました平成 21 年 3 月期通期(自平成 20 年 4 月 1 日 至平成 21 年 3 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 単 体

(単位：百万円)

	経 常 収 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	60,400	4,500	3,000
今 回 修 正 予 想 (B)	60,200	2,300	1,800
増 減 額 (B-A)	△ 200	△ 2,200	△ 1,200
増 減 率	△ 0.3%	△ 48.8%	△ 40.0%
前 期 実 績 (平成 20 年 3 月期)	64,018	15,591	8,299

(2) 連 結

(単位：百万円)

	経 常 収 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	76,600	5,000	3,000
今 回 修 正 予 想 (B)	76,300	2,900	1,800
増 減 額 (B-A)	△ 300	△ 2,100	△ 1,200
増 減 率	△ 0.3%	△ 42.0%	△ 40.0%
前 期 実 績 (平成 20 年 3 月期)	80,505	16,380	8,283

2. 業績予想の修正理由

(1) 単 体

経常収益につきましては、ほぼ計画通りに推移いたしました。一方、経常利益および当期純利益につきましては、景気の悪化、証券市況の低迷を背景として、与信費用が増加するとともに、役務取引等利益が減少したことなどから、前回予想を下回る見込みとなりました。

なお、期末の配当につきましては、5月15日の決算発表時にお知らせいたします。

(2) 連 結

主として銀行単体の業績予想の修正に伴うものです。

[ご参考]平成21年3月期業績予想(単体)

(単位：億円)

	前回予想 (A)	今回予想 (B)	比 較 (B)-(A)
コ ア 業 務 純 益	180	176	△ 4
う ち 資 金 利 益	414	413	△ 1
う ち 貸 出 金 利 息	372	371	△ 1
う ち 有 価 証 券 利 息 配 当 金	130	130	0
う ち 預 金 利 息 (△) (注)	70	70	0
う ち 役 務 取 引 等 利 益	52	47	△ 5
う ち 経 費 (臨時処理分を除く) (△)	288	287	△ 1
与 信 費 用	80	96	16
有 価 証 券 関 係 損 益	△ 47	△ 49	△ 2
経 常 利 益	45	23	△ 22
当 期 純 利 益	30	18	△ 12

(注)預金利息は譲渡性預金を含みます。

3. 主な増減要因

(1) コア業務純益

資金利益につきましては、預貸金の順調な増加によりほぼ計画通りに推移しております。役務取引等利益につきましては、証券市況の低迷により預かり資産販売が鈍化したことから、前回予想を下回る見込みです。

この結果、コア業務純益は、前回予想を4億円下回る見込みです。

(2) 経常利益および当期純利益

景気の後退感が強まるなか、お取引先の業況変化に対応して貸倒引当金の積み増しを行ったことから、与信費用は前回予想から16億円増加する見込みです。また、証券市場の低迷により、有価証券関係損益は前回予想から2億円悪化する見込みです。

この結果、経常利益は22億円、当期純利益は12億円、前回予想を下回る見込みです。

以 上

(注) 本資料の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。